

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 国語科】 担当：西城 有里加

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	1 広がる学びへ ○見えないだけ	作品を通して感じたことや、友達と話し合ったことを基に、詩の特徴が効果的に伝わるように工夫して朗読案を考える。	知・技(1)エ	知・技 主体的態度	表現の特徴や、作者のものの見方や感じ方について、自分なりに感想をもっている。	授業観察 ノート 定期考査
		○アイスプラネット	登場人物の言動や心情を表す表現から、「僕」の心情の変化を捉える。	知・技(1)エ 思・判・表C(1)ア 思・判・表C(2)イ	知・技 思・判・表 主体的態度	登場人物の言動を手がかりにして、人物の関係や心情の変化を捉えている。	授業観察 ワークシート 定期考査
		○問いを立てながら聞く	意見と根拠を整理し、疑問に思うことや確認したいことを考えながら聞く。	知・技(2)ア 思・判・表A(1) ア・エ 思・判・表A(2)ア	知・技 思・判・表 主体的態度	提案内容を理解し、その要点を的確にメモしている。	授業観察 ノート
	5 月	○枕草子	自分流「枕草子」を書く。 「枕草子」の形を借りて、自分ならではの季節感を表す文章を400字程度で書く。	知・技(3)イ 思・判・表B(1)ア 思・判・表C(1)オ	知・技 思・判・表 主体的態度	自分なりの季節感が効果的に伝わるように、構成や描写を工夫して書いている。	授業観察 ワークシート 朗読テスト 定期考査 授業観察 ノート
		○情報整理のレッスン 思考の視覚化	教材文を読み、情報を整理し、視覚的に表す方法を理解する。	知・技(2)イ	知・技 主体的態度	積極的に情報と情報の関係の様々な表し方を理解し、使おうとしている。	授業観察 ノート
		○多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る	・集めた情報を整理する。 ・自分の考えをまとめる。 ・割り付け(レイアウト)	知・技(2)イ 思・判・表B(1)ア	知・技 思・判・表 主体的態度	興味をもった職業について、複数の方法で情報を集めて自分の考えを整理している。	授業観察 ワークシート
	6 月	○漢字に親しもう1 熟語の構成	教材文を読み、熟語の構成の種類について理解する。	知・技(2)イ	知・技 主体的態度	熟語の主な構成について理解している。	授業観察 定期考査
		2 多様な視点から ○クマゼミ増加の原因を探る	本論を読み、調査によって明らかになったことを二つに分けて捉える。本論での説明の仕方の特徴を、事実と筆者の考えの示し方などに着目して捉える。	知・技(1)オ 思・判・表C(1) ア・ウ 思・判・表C(2)ア	知・技 思・判・表 主体的態度	文章の構成や事実と事実に対する筆者の考えの組み合わせに着目して、説明の仕方の特徴を捉えている。	授業観察 ワークシート 定期考査
		○魅力的な提案をしよう プレゼンテーションをする	相手の知りたいことを想定し、効果的な説明の仕方についてグループで話し合う。進行案を基に、グループごとにプレゼンテーションを行う。	知・技(1)ア 思・判・表A(1) イ・ウ	知・技 思・判・表 主体的態度	多様な方法で情報を集め、目的や聞き手に合わせて、材料を整理して、伝えたいことが明確な構成、展開を作ることができる。	授業観察 ワークシート プレゼンテーション
		○漢字に親しもう2	新出漢字を確認する。練習問題に取り組む。	知・技(1)ウ	知・技 主体的態度	積極的に漢字を書いたり読んだりしようとしている。	授業観察 定期考査
		○文法への扉1 単語をどう分ける	単語がいくつかの分類に分けられていることを知り、そのうちの「自立語」について知ることができる。	知・技(1)オ	知・技 主体的態度	自立語にどんな品詞があるかを知り、それぞれが文中に果たす役割について理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査
		情報社会を生きる ○メディアを比べよう	メディアから適切な情報を得るためにどのような方法で何を確認すべきか、わかったことをまとめる。どんな情報も発信者によって編集されたものであることを理解させる。	知・技(2)イ 思・判・表B(1)ア 思・判・表C(1) イ・エ	知・技 思・判・表 主体的態度	同一の話題について書かれた複数のメディアを比較し、それぞれの特徴について考えている。「書くこと」において、目的や意図に応じて多様な方法で集めた材料を整理している。	授業観察 ワークシート

7月	3 言葉と向き合う ○短歌に親しむ ○言葉を比べよう 言葉1 類義語・対義語・多義語 ○言葉の力	好きな一首を選び、自分の知識や経験と結び付けて感想を書く。目にした情景、心に残る出来事や感動したことなど、題材を探して短歌を作る。 似た意味の言葉を使って物語を書く活動を通して、言葉の共通点や相違点を明確にし、語感を磨く。 文章を三つのまとまりに分け、それぞれの内容を要約する。	知・技(1)エ 思・判・表B(1)ウ 思・判・表C(1) エ・オ 知・技(1)エ 知・技(3)エ 思・判・表C(1)オ 思・判・表C(2)イ	知・技 思・判・表 主体的態度 知・技 主体的態度 知・技 思・判・表 主体的態度	自分の思いが伝わるように、学習した短歌の形式や表現の工夫を参考にして短歌を作っている。 気持ちを表す言葉の微妙な違いについて考え、語感を磨いている。 挿話と筆者の考えとの関連を捉え、言葉と人との関わりについて自分の考えをまとめている。	授業観察 ワークシート 定期考査 授業観察 ワークシート 小テスト 授業観察 ワークシート 定期考査
----	--	--	--	--	--	---

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 国語科】 担当：西城 有里加

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
	9月	4人間のきずな ○盆土産	登場人物の言動や様子を描いた表現から、人柄や心情を考える。	知・技（1）エ 思・判・表C（1）イ 思・判・表C（2）イ	知・技 思・判・表 主体的態度	構成や、会話文に見られる方言、登場人物の言動の描写に着目し、人柄や心情を捉えながら作品を読み味わっている。	授業観察 ワークシート ノート 定期考査
		○字のない葉書	父親の言動から、その人柄や心情を捉える。亡くなった父親に対して今の「私」がどんな思いを抱いているかを考える。戦時中の家族の生活から命の尊さについて考える。	知・技（3）エ 思・判・表C（1）エ	知・技 思・判・表 主体的態度	言動や様子を表す表現に着目して、父親の人柄や心情を読み取っている。 父や妹の様子から、命の尊さについて考えている。	授業観察 ワークシート ノート 定期考査
		○【推敲】表現の効果を考える	教材文を読み、言葉の使い方や表記の誤りについて発表し合う。	知・技（1）カ 思・判・表B（1）エ	知・技 思・判・表 主体的態度	四つの観点を理解して、誤りがない文章にしている。	授業観察 作文 ワークシート
		○表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く	「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本数、相手と目的、内容を決めて下書きをする。 友達の助言も踏まえて遂行する。	知・技（1）ア・カ 思・判・表B（1）ウ	知・技 思・判・表 主体的態度	伝えたい内容を明確にし、効果的に伝わるように表現や構成を工夫して書いている。	授業観察 作文 ワークシート
		○敬語	教材文を読み、敬語の働きや種類について理解する。	知・技（1）カ	知・技 主体的態度	敬語の働きについて理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査
2学期	10月	○漢字に親しもう3	新出漢字を確認する。練習問題に取り組む。	知・技（1）ウ	知・技 主体的態度	積極的に漢字を書いたり読んだりしようとしている。	定期考査 ノート
		5論理を捉えて ○モアイは語る―地球の未来	筆者の論の展開と主張を捉える。 序論での問いや問題に対応した説明を確認する。 本論の話題に応じた小見出しを付ける。 イースター島と地球の状況から筆者の主張を捉える。	知・技（2）ア 思・判・表C（1） エ・オ	知・技 思・判・表 主体的態度	序論の問題提起に対応した本論の説明や本論を受けた結論など、論の展開をおさえて、筆者の主張を捉えている。	授業観察 ワークシート ノート 定期考査
		○思考のレッスン2 根拠の吟味	教材文を読み、根拠を吟味する方法を理解する。	知・技（2）ア	知・技 主体的態度	今までの学習をいかして、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。	授業観察 ワークシート ノート
		○根拠の大切さを考えて書こう 意見文を書く	根拠の適切さや反論を想定して文章構成を考える。完成した意見文を友達と読み合い、説得力があったところや改善点を伝え合う。	知・技（2）ア 思・判・表B（1）ウ	知・技 思・判・表 主体的態度	根拠となる事実を具体的に示したり、想定される反論に対する意見を示したりしている。	授業観察 ワークシート ノート
		○漢字に親しもう4	新出漢字を確認する。練習問題に取り組む。	知・技（1）ウ 知・技（2）ア	知・技 思・判・表 主体的態度	積極的に漢字を書いたり読んだりしようとしている。	授業観察 ワークシート ノート
2学期		○【討論】異なる立場から考える 立場を尊重して話し合おう	討論のテーマを決め情報を集める。立場を決めてグループで討論を行う。	思・判・表A（1） ア・オ		すすんで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。	
		○音読を楽しもう 月夜の浜辺	七音の繰り返しのリズムや反復の効果を味わい、情景心情を想像しながら読む。	知・技（1）エ 思・判・表C（1）エ	知・技 思・判・表 主体的態度	表現の効果について考え、今までの学習をいかして詩を朗読しようとしている。	授業観察 ノート 朗読テスト

1 1 月	6 いにしへの心を訪ねる ○音読を楽しもう 平家物語	「平家物語」の主な内容と文章の特徴を知る。 教材文を朗読（音読）、あるいは暗唱する。	知・技（3）ア	知・技 主体的態度	歴史的仮名遣いやリズムなど作品の特徴を捉えて 朗読しようとしている。	授業観察 ワークシート ノート 音読テスト 定期考査
	○扇の的―「平家物語」から	「平家物語」に描かれたものの見方や考え方に ついて、自分の考えをもつ。「弓流し」の場面 も合わせて読み、武士の考え方を捉えさせる。	知・技（3）ア・イ 思・判・表C（1）イ	知・技 思・判・表 主体的態度	登場人物の言動から心情を考え、そこに表れた価 値観などに対して、自分なりの考えをもち、意見 を述べている。	授業観察 ワークシート ノート 定期考査
	○仁和寺にある法師―「徒然 草」から ○漢詩の風景	登場人物の行動を捉え、作者のものの見方を考 える。 漢詩に描かれた季節、情景、作者の心情を読み 味わう。	知・技（3）ア・イ 思・判・表B（1）イ 思・判・表C（1） エ・オ	知・技 思・判・表 主体的態度	登場人物の行動を通して述べられた作者の考えに ついて、自分の考えをもち、述べている。 それぞれの漢詩に歌われている季節、情景や心情 を、表現に基づいて想像し、まとめている。	授業観察 ワークシート ノート 定期考査
1 2 月	7 価値を語る ○君は「最後の晩餐」を知っ ているか	「カッコいい」のほか、文末表現も「だろう」 「ではないか」など、主観的な表現が多く用い られていることに注意させ、使われている語句 と「評論」という文章形態との関係も意識させ る。	知・技（2）ア 思・判・表C（1） イ・エ	知・技 思・判・表 主体的態度	語句や表現の工夫に着目して読み、筆者のもの の見方や考え方を読み取っている。	授業観察 ワークシート ノート 定期考査
	○魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く	絵を見て感じたことを付箋などに書き出し、そ れをもとに構成を考え、鑑賞文を書く。	知・技（1）エ 思・判・表B（1） ウ・オ	知・技 思・判・表 主体的態度	作品の魅力が伝わるよう、作品に描かれている様 子を具体的に説明することができている。	授業観察 ワークシート ノート 作文
	○漢字に親しもう 5	新出漢字を確認する。練習問題に取り組む。	知・技（1）ウ	知・技 主体的態度	積極的に漢字を書いたり読んだりしようとしてい る。	ノート 定期考査
	○文法への扉 2 用言の活用	活用の意味や用語について理解する。	知・技（1）オ	知・技 主体的態度	用言の活用形と活用の種類を理解して問題を解く ことができる。	授業観察 ワークシート 定期考査
	読書に親しむ ○研究の現場にようこそ 日本に野生のゾウやサイがい たころ/クモの糸でバイオリン	教材文を自分の知識や経験と結びつけて読み、 初めて知ったこと、興味をもったこと、疑問に 思ったことなどを伝え合う。	知・技（3）エ	知・技 主体的態度	教材文を通して研究者の考え方や探究心に触れ、 研究に関わるさまざまな本を読もうとしている。	授業観察 ワークシート ノート

令和6年度 年間指導計画・評価計画

【2年 国語科】

担当：西城 有里加

指導の観点：知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学 期	1 月	6 表現を見つめる ○走れメロス	描写や会話に着目して、登場人物の人物像の変化を捉える。	知・技（1）エ 思・判・表B（1）ウ 思・判・表C（1） イ・オ	知・技 思・判・表 主体的態度	登場人物の変化を読み取り、作品に描かれた「友情」「正義」に対する考え方と自分の考えを比べている。	授業観察 ワークシート ノート 定期考査 授業観察 ノート
		○漢字に親しもう6	新出漢字を確認する。練習問題に取り組む。	知・技（1）ウ	知・技 主体的態度	積極的に漢字を書いたり読んだりしようとしている。	
		○文法への扉2 付属語	「付属語」を読み、助詞、助動詞の働きと種類について理解する。	知・技（1）オ	知・技 主体的態度	助詞と助動詞の働きや種類について整理した内容を理解している。	授業観察 ワークシート ノート 定期考査
	2 月	○「ある日の自分」の物語を書く	自分を登場人物の一人として、物語のあらすじを考える。	知・技（1）オ 思・判・表B（1） イ・オ	知・技 思・判・表 主体的態度	場面の様子や気持ちの変化が効果的に伝わるように描写や構成を工夫して書いている。	授業観察 ワークシート 作文
		○話し言葉と書き言葉	話し言葉と書き言葉の違いについて例文をもとに考える。	知・技（1）イ	知・技 主体的態度	話し言葉と書き言葉の特徴を生かして表現する際にどんな注意が必要か考えることができる。	授業観察 ワークシート
		○送り仮名	教材文を読み、送り仮名の付け方の主な原則と例外について理解する。	知・技（1）ウ	知・技 主体的態度	送り仮名の主な原則と例外について理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査
	3 月	○国語の学びを振り返ろう	口頭発表のために内容を整理し、資料を作る。それぞれが3分程度で発表し、質問や感想を伝え合う。	知・技（1）オ 知・技（2）イ 思・判・表A（1）オ 思・判・表B（1）	知・技 思・判・表 主体的態度	資料や機器などを効果的に使い、分かりやすく説明している。	授業観察 ワークシート ノート
		○木	詩の表現について考え擬人法の効果や、筆者のものの見方について語り合う。	知・技（1）エ 思・判・表C（1）オ	知・技 思・判・表 主体的態度	「愛」「正義」など抽象的な概念を表す言葉に着目し、詩の中での意味を考えている。	授業観察 ワークシート ノート
		振り返り ○学習を振り返ろう	詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことばを伝え合ったりする。	知・技（1）ア・カ 知・技（2）ア 思・判・表A（1） イ・エ	知・技 思・判・表 主体的態度	一年間の国語学習の中から題材を選び、分析したことを整理してまとめている。	授業観察 ワークシート ノート

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 社会科】 担当：漆沢伸一

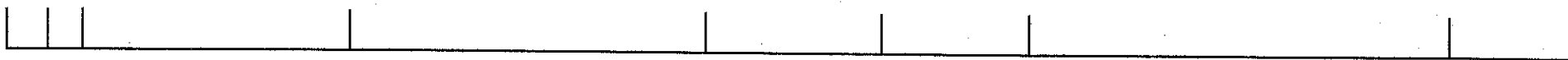
指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	地理 第3編 日本のおもんな地域 第1章 地域調査の手法 第2章 日本のおもんな地域と 地域区分	地域調査を行う際の視点や方法、まとめ方 などの基礎を理解させる。また、地形図や 主題図の読図などの地理的技能を身に付け させる。 日本の地形や気候、災害と防災、人口、資 源・エネルギー、産業、交通・通信など について、世界との比較や地域間の結び付き などの観点から考察させ、日本の特色を理 解させる。また、日本の課題について考察 を深め、それを主体的に追求し、解決しよ うとする態度を身に付けさせる。	日本の諸地域 ア イ	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に学習に 取り組む態度	○地域調査を行う際の視点や方法、まとめ方などの 基礎を理解し、地形図や主題図の読図などの地理的 技能を身に付けている。 ○日本の特色を地形や気候、災害と防災、人口、資 源・エネルギー、産業、交通・通信など、世界との 比較や地域間の結び付きなどの観点から考察し、日 本の特色を理解している。また、よりよい社会の実 現を視野に、日本の課題を主体的に追求しようとし ている。	定期調査 ノート ワーク 課題 授業観察
	5 月	第3章 日本のおもんな地域 1節 九州地方 2節 中国・四国地方	九州地方の自然環境と各地で行われる環境 保全への取り組みを軸に、人々の暮らし、産 業、環境問題への対策などを理解させると ともに、持続可能な社会を作るために必要 な基本的な態度を身に付けさせる。 中国・四国地方の自然環境と交通・通信の 整備を軸に、人々の暮らし、産業、都市と 農村の変化などについて整理し、地域の特色 や地域が抱える課題について考えさせる。	中世の日本 ア イ	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に学習に 取り組む態度	○九州地方の自然環境と各地で行われる環境保全へ の取り組みを軸に、人々の暮らし、産業、環境問題へ の対策などについて考察し、持続可能な社会を作る ために必要な基本的な態度を身に付けさせる。 ○中国・四国地方の交通・通信の整備を基に、人々 の暮らし、産業、都市と農村の変化などについて理 解するとともに、地域の特色や地域が抱える課題に ついて考察し、まとめた内容を発表することができる。	定期調査 ノート ワーク 課題 授業観察
	6 月	3節 近畿地方 4節 中部地方	近畿地方の自然環境、人口の移動、都市や 農村の変化を軸に、人々の暮らし、産業、 都市と農村の変化などについて整理し、地 域の特色や課題について考えさせる。 中部地方の自然環境と活発な産業を軸に、 人々の暮らし、現在の中心となる産業と伝統 産業などについて整理し、地域の特色や課 題について考えさせる。	日本のおもんな地 域 ア イ	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に学習に 取り組む態度	○近畿地方について学んだ知識を基に、人々の暮らし、 産業、都市と農村の変化などについて理解する とともに、地域の特色や地域の課題について考察 し、まとめた内容を発表することができる。 ○中部地方の自然的特色を理解するとともに、各地 の特色ある産業について理解している。また、各地 に個性豊かな産業が発達しているのかという課題 に、見通しをもって主体的に追及している。	定期調査 ノート ワーク 課題 授業観察
	7 月	5節 関東地方	関東地方の自然環境と交通・通信の発達を 軸に、人々の暮らし、産業、東京を中心に 日本の中核機能が集中する関東地方と各地 域との結びつき、世界との結びつきについ て、資料から的確に読み取りまとめさせ る。	日本の諸地域 ア イ	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に学習に 取り組む態度	○関東地方の自然的特色を理解するとともに、関東 地方の多様な産業について理解している。また、他 の地域との強い結びつきが見られるのかという課題 に、見通しをもって主体的に追及している。	定期調査 ノート ワーク 課題 授業観察

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 社会科】 担当：漆沢伸一

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	地理 第3章 日本の諸地域 6節 東北地方 7節 北海道地方	東北地方で今なお伝統的な生活や文化が根付いている背景について、自然環境と地域的特色とを関連付けて理解させる。また、自然災害からの教訓を受け継ぐ人々の暮らしについて考えさせる。 北海道地方の自然環境を軸に、雄大な自然にとともに生きる人々の生活の様子や、雄大な自然を生かした産業の特色と産業を通じた世界との結びつきについて考えさせる。	日本の諸地域 ア イ	知識・理解 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○東北地方で今なお伝統的な生活や文化が根付いている背景を、自然環境と地域的特色とを関連付けて理解している。また、自然災害からの教訓を受け継ぐ人々の暮らしについて考察し、防災や新しい町づくりのあり方について追及しようとしている。 ○北海道地方の自然環境についての知識を基に、雄大な自然にとともに生きる人々の生活の様子や、雄大な自然を生かした産業の特色と産業を通じた世界との結びつきについて考察し、地域の発展や環境保全のあり方について追及しようとしている。	定期考査 ノート ワーク 課題 授業観察
	1 0 月	歴史 第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会いと 全国統一	ヨーロッパ人の来航の背景とその影響について、イスラム世界の拡大、十字軍の遠征、ルネサンスや宗教改革、大航海時代などを基に、世界的な視点から理解させるとともに、世界的な視点から日本の近世社会の基礎が作られたことを考察させる。 ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解させる。	近世の日本 ア イ	知識・理解 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○ヨーロッパ人の来航の背景について、イスラム世界の拡大、十字軍の遠征、ルネサンスや宗教改革、大航海時代などを基に、近世の日本に与えた影響について、多面的・多角的に考察している。 ○ヨーロッパ人の来航による社会的影響や、織田・豊臣による統一事業と当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開を基に、近世社会の基礎の形成を考察するとともに、それらの歴史的事象の知識を身に付けている。	定期考査 ノート ワーク 課題 授業観察
	1 1 月	2節 江戸幕府の成立と対外政策	江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府のしくみの特色や幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。	近世の日本 ア イ	知識・理解 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、幕府の対外政策などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 ○幕府の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、身分制度の目的や民衆の生活の様子や幕府の成立と対外関係など、近世社会の変化の様子について、主体的に追求しようとしている。	定期考査 ノート ワーク 課題 授業観察
	1 2 月	3節 産業の発達と幕府政治の動き	産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。	近世の日本 ア イ	知識・理解 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○江戸時代の政治改革の特色について、それぞれの政治改革を比較しながら考察し、それぞれの改革の特色を理解している。 ○元禄時代や文化文政の時代の民衆の暮らしや文化の特色について、資料を比較しながら考察し、時代背景と合わせてまとめることができる。	定期考査 ノート ワーク 課題 授業観察



令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 社会科】 担当：漆沢伸一

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	歴史 第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米における近代化の進展	欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。	近代の日本と世界 ア イ	知識・理解 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。	定期考査 ノート ワーク 課題 授業観察
	2 月	2節 欧米の進出と日本の開国	開国から江戸幕府滅亡までの過程を、欧米諸国の動きと関連させて理解させる。また、開国の影響とその後の幕府政治の推移について多面的・多角的に考えさせる。	近代の日本と世界 ア イ	知識・理解 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○開国までの道すじや、開国から討幕までの動きの中で日本が受けた政治的、経済的、社会的な影響について考察するとともに、日本と世界を大観しながら追及しようとしている。	定期考査 ノート ワーク 課題 授業観察
	3 月	3節 明治維新 新政府の成立 明治維新の三大改革 富国強兵と文明開化	開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられたことを理解させる。また、新政府の諸改革が進められる中で、人々の生活がどの様に変化したかを考えさせる。	近代の日本と世界 ア イ	知識・理解 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○新政府の諸改革の特色を理解している。また、これらの改革が近代国家の形成において、どのような役割を果たしたかを考察するとともに、新政府が目指した国家のかたちをイメージしようとしている。	定期考査 ノート ワーク 課題 授業観察

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 数学科】 担当：望月 亘

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1. 学期	4月	1章 文字式を使って説明しよう 【式の計算】 1節 多項式の計算 2節 文字式の利用	①単項式と多項式、次数の意味を理解する。 ②同類項の意味を理解し、同類項をまとめる計算や多項式の加法と減法の計算ができる。 ③多項式と数の乗法や除法の計算ができる。 ④多項式についていろいろな計算ができる。 ⑤単項式どうしの乗法や除法の計算ができる。 ⑥単項式どうしの乗法と除法の混じった計算ができる。 ⑦式の値をくふうして求めることができる。 ⑧具体的な数の性質をもとに数の性質を見だし、その性質が成り立つことを、文字を使って一般的に説明できることを理解する。 ⑨数の性質が成り立つことを、文字を使って説明することができる。 ⑩目的に応じて等式を変形することの必要性を理解し、等式を変形して、ある文字について解くことができる。	A数と式(1) ア(ア) ア(イ) ア(ウ) ア(エ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇簡単な正式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 ◇具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 ◇文字を使った式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。 ◇目的に応じて、簡単な式を変形することができる。 ☆具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 ☆文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。 ○文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。 ○文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	授業観察 自己評価シート プリント提出 問題集提出 単元確認テスト 学習調整テスト 定期考査
	5月	2章 方程式を利用して問題を解決しよう 【連立方程式】 1節 連立方程式とその解き方 2節 連立方程式の利用	①2元1次方程式とその解の意味を知る。 ②連立方程式とその解の意味を知る。 ③連立方程式を1次方程式に結び付けて解くことができる。 ④連立方程式では、1つの文字を消去して1次方程式をつくれれば解けることを理解することができる。 ⑤加減法を理解し、それを用いて連立方程式を解くことができる。 ⑥代入法を理解し、それを用いて連立方程式を解くことができる。 ⑦かっこをふくむ連立方程式や、係数に小数や分数をふくむ連立方程式を解くことができる。 ⑧ $A=B=C$ の形をした連立方程式を解くことができる。 ⑨具体的な問題を、連立方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解する。 ⑩次のことがらに関する問題を、連立方程式を利用して解決することができる。 【個数と代金／速さ・時間・道のり／割合】	A数と式(2) ア(ア) ア(イ) ア(ウ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇2元1次方程式とその解の意味を理解している。 ◇連立2元1次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 ◇簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。 ☆1元1次方程式と関連付けて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ☆連立2元1次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。 ○連立2元1次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ○連立2元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	6月	3章 関数を利用して問題を解決しよう 【1次関数】 1節 1次関数 2節 1次関数の性質と調べ方	①具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を調べ、一定の割合で変化していることを見いだす。 ②1次関数の意味を理解し、 $y=ax+b$ の式に表すことができる。 ③1次関数 $y=ax+b$ では、変化の割合は一定で、 a に等しいことを理解する。 ④1次関数のグラフは、その式をみたす点の集合で、1つの直線であることを理解する。また、1次関数のグラフの切片の意味を理解する。 ⑤1次関数のグラフの切片の意味、1次関数のグラフの傾きの意味を理解する。 ⑥1次関数の式を求めることができる。	C関数(1) ア(ア) ア(イ) ア(ウ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇1次関数について理解している。 ◇事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知っている。 ◇1次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解している。 ◇1次関数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。 ☆1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ○1次関数の必要性和意味を考えようとしている。	
	7月						

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 数学科】 担当：望月 亘
 指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	3章 関数を利用して 問題を解決しよう [1次関数] 3節 2元1次方程式と 1次関数 4節 1次関数の利用	①2元1次方程式のグラフは、その解を座標とする点の 集合で、式を変形してできる1次関数のグラフにな っていることを理解する。 ②2元1次方程式のグラフをかくことができる。 ③連立方程式の解が、2つの2元1次方程式のグラフの 交点の座標であることを理解し、その交点を求める ことができる。 ④具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関 数とみなして、問題を解決し、その解決方法を説 明することができる。	C関数(1) ア(イ) ア(ウ) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に 取り組む態度	◇2元1次方程式を関数を表す式とみることができる。 ◇事象の中には1次関数として捉えられるものがあること を知っている。 ☆1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現するこ とができる。 ○1次関数について学んだことを生活や学習に生かそう としている。 ○1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討 しようとしている。	授業観察 自己評価シート プリント提出 問題集提出 単元確認テスト 学習調整テスト 定期考査
	10 月	4章 図形の性質の調べ方を 考えよう [平行と合同] 1節 説明のしくみ 2節 平行線と角 3節 合同な図形	①角の大きさの求め方を、補助線や根拠となる図形の 性質を明らかにして説明することができる。 ②対頂角、同位角、錯角の意味を理解することができ る。 ③図形の性質を、論理的に筋道を立てて説明すること ができる。 ④平面図形の合同の意味と合同な図形の性質、三角形 の合同条件を理解することができる。 ⑤2つの三角形が合同かどうかを、三角形の合同条件 を使って判断することができる。 ⑥ことがらの仮定と結論の意味を理解し、根拠となる ことがらを明らかにして、簡単な図形の性質を証明 することができる。	B図形(1) ア(ア) ア(イ) イ(ア) B図形(2) ア(ア) ア(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に 取り組む態度	◇多角形の角についての性質が見いだせることを知って いる。 ◇平行線や角の性質、平面図形の合同の意味及び三角形 の合同条件について理解している。 ◇証明の必要性と意味、その方法について理解している。 ☆基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性 質をもとにそれらを確認し、説明することができる。 ○証明の必要性と意味、その方法を考えようとしている。 ○平面図形の性質について学んだこと、を生活や学習に 生かそうとしている。 ○平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返り 検討しようとしている。	
	11 月	4章 図形の性質を見つけて 証明しよう [三角形と四角形] 1節 三角形 2節 平行四辺形	①二等辺三角形の性質や正三角形の性質を見だし、 説明することができる。 ②ことがらの逆と反例の意味を理解する。 ③二等辺三角形になるための条件を論理的に確かめ、 二等辺三角形になるための条件を利用して、図形の 性質を証明することができる。 ④直角三角形の合同条件を説明することができ、それ らを利用して、図形の性質を証明することができる。 ⑤平行四辺形の定義と性質を理解し、性質を証明する ことができる。 ⑥平行四辺形の性質を利用して、図形の性質を証明す ることができる。 ⑦平行四辺形になるための条件を証明することができ、 それらを利用して図形の性質を証明したり、その証 明を振り返って統合的・発展的に考えたりすること ができる。 ⑧長方形、ひし形、正方形の定義やそれらと平行四辺 形との相互関係を理解し、それらの性質を証明した り、その逆が正しくないことの反例を示すことがで きる。 ⑨平行線の性質を利用して、図形を等積変形すること ができる。	B図形(2) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に 取り組む態度	◇証明の必要性と意味及びその方法について理解してい る。 ◇定義やことがらの仮定と結論、逆、反例の意味を理解 している。 ◇正方形、ひし形、長方形が平行四辺形の特別な形であ ることを理解している。 ☆三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺 形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ☆証明を読んで新たな性質を見だし、表現することが できる。 ☆三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して具 体的な事象を考察し、表現することができる。 ☆ことがらが正しくないことを証明するために、反例を あげることができる。 ○証明の必要性と意味及びその方法を考えようしてい る。 ○平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生 活や学習に生かそうとしている。 ○平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返っ て検討しようとしている。	
	12 月						

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 数学科】 担当：望月 亘

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3学期	1月	6章 起こりやすさをとらえて説明しよう 【確率】 1節 確率 2節 確率による説明	①多数回の実験の結果をもとにして、あたりやすさの傾向を読み取り、説明することができる。 ②①と関連付け、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味及び確率の求め方を理解する。 ③起こりうる場合を、樹形図や表を使って全部あげ、確率を求めることができる。 ④起こりうる場合の組み合わせを考えて、確率を求めることができる。また、起こりうる場合を2次元の表に整理し、確率を求めることができる。 ⑤あることがらの起こらない確率の求め方を理解し、その確率を求めることができる。 ⑥身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。	Dデータの活用(2) ア(ア) ア(イ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇多数回の試行で得られる確率と関連付けて、場合の数から得られる確率の必要性和意味を理解している。 ◇簡単な場合について確率を求めることができる。 ☆同様に確からしいことに着目し、場合の数から得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 ☆確率を用いて不確定な事象を捉え、考察し表現することができる。 ○場合の数から得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。 ○不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	授業観察 自己評価シート プリント提出 問題集提出 単元確認テスト 学習調整テスト 定期考査
		6章 データを比較して判断しよう 【データの比較】 1節 四分位範囲と箱ひげ図	①複数のデータの分布の傾向を比較するとき、ヒストグラムでは比較しにくいことを知る。 ②箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し、データを整理して箱ひげ図に表すことができる。また、箱ひげ図と四分位範囲の特徴を理解する。 ③四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。	Dデータの活用(1) ア(ア) ア(イ) イ(ア)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解している。 ◇コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。 ☆四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 ○四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を考えようとしている。 ○データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	2月	復習演習 総合演習 発展学習 A 数と式 B 図形 C 関数 D データの活用	①第2学年で学習した単元の内容についての理解の程度を問題演習の形式で確認し、学び直す。 ②第2学年で学習した単元の内容をもとにした総合的な問題を解決することで、思考力・判断力・表現力を養う。 ③第2学年で学習した単元の内容をもとにした発展的な問題に小集団で取り組み、協働して問題を解決する。	A(1) ア(ア)～(エ) イ(ア)～(イ) A(2) ア(ア)～(ウ) イ(ア)～(イ) B(1) ア(ア)～(イ) イ(ア) B(2) ア(ア)～(イ) イ(ア)～(イ) C(1) ア(ア)～(ウ) イ(ア)～(イ) D(1) ア(ア)～(イ) イ(ア) D(2) ア(ア)～(イ) イ(ア)～(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ◇事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 ☆文字を用いて数量の関係や法則などを考察することができる。 ☆図形の性質や関係を論理的に考察し表現することができる。 ☆関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。 ☆複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察することができる。 ☆数学の事象や日常的な事象から見通しをもって問題を見だし解決したり、解決の過程や結果を振り返って統一的・発展的に考察することができる。 ○数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 ○多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしている。	
	3月						

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 理科】 担当：下出

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	オリエンテーション 単元1 化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち	物質を分解する実験から、分解して生成した物質は元の物質とは異なることを理解する。 化学変化は原子や分子のモデルで説明できること、化合物の組成は化学式で表されること及び化学変化は化学反応式で表されることを理解する。	◆1分野(4)ア(ア) ⑦, ⑧	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	物質の分解、原子・分子についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 物質の成り立ちについて観察、実験などを行い、化学変化における物質の変化を見いだして表現する等、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
	5 月	単元1 化学変化と原子・分子 2章 いろいろな化学変化 3章 化学変化と熱の出入り	2種類の物質を反応させる実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いだして理解するとともに、化学変化は原子や分子のモデルで説明できること、化合物の組成は化学式で表されること及び化学変化は化学反応式で表されることを理解する。 化学変化によって熱を取り出す実験を行い、化学変化には熱の出入りが伴うことを見いだして理解する。	◆1分野(4)ア(イ) ⑦, ⑧, ⑨	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	化学変化、化学変化における酸化と還元についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 化学変化について観察、実験などを行い、化学変化における物質の変化を見いだして表現する等、科学的に探求している。 化学変化と熱についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 化学変化における物質の変化を見いだして表現する等、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
	6 月	単元1 化学変化と原子・分子 4章 化学変化と物質の質量	化学変化の前後における物質の質量を測定する実験を行い、反応物の質量の総和と生成物の質量の総和が等しいことを見いだして理解する。	◆1分野(4)ア(ウ) ⑦, ⑧	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	化学変化と質量の保存、質量変化の規則性についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 化学変化と物質の質量について観察、実験などを行い、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現する等、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
	7 月	単元2 生物の体のつくりとはたらき 1章 生物をつくる細胞	生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること及び植物と動物の細胞のつくりの共通点と相違点を理解する。 生物の観察を行い、生物の体は同じ形や働きをもった細胞が集まって組織を、組織が合わさって器官を構成していることを理解する。	◆2分野(3)ア(ア) ⑦	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	生物と細胞についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 理科】 担当：下出

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期 月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月 単元2 生物の体のつくりとはたらき 2章 植物の体のつくりとはたらき	植物の葉、茎、根のつくりについての観察を行い、それらのつくりと、光合成、呼吸、蒸散の働きに関する実験の結果とを関連付けて理解する。また、光合成における葉緑体の働きを理解する。植物の葉、茎、根のつくりと、その働きを交互に関連付けて理解する。 植物の葉、茎、根のつくりと、その働きを交互に関連付けて理解する。	◆2分野(3)ア(イ) ⑦	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	根・茎・葉のつくりと働きについての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 植物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。植物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
	10 月 単元2 3章 動物の体のつくりとはたらき	消化や呼吸についての観察、実験などを行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬している仕組みを観察、実験の結果などと関連付けて理解する。 動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、その仕組みを感覚器官、神経系及び運動器官のつくりと関連付けて理解する。 生物の体のつくりと働きについての学習などを通して、生命を維持する仕組みについて理解する。	◆2分野(3)ア(ウ) ⑦, ⑧	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	生命を維持する働き、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 動物の体のつくりと働きについて問題を見だし、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
	11 月 単元3 電流とその利用 1章 電流と回路	回路の各点を流れる電流や電圧についての規則性を見いだして理解する。 金属線には電気抵抗があることを理解する。また、種類によって抵抗の値が異なることや、合成抵抗について知る。 電流と発生する熱や光などの量の関係について理解する。また、電力量や熱量について知る。	◆1分野(3)ア(ア) ⑦, ⑧, ⑨	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	回路と電流・電圧、電流・電圧と抵抗、電気とそのエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 電流に関する現象について、実験などを行い、電流と電圧、電流の働きの規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
	12 月 単元3 電流とその利用 2章 電流と磁界	磁石や電流による磁界の観察を行い、コイルの回りに磁界ができることを知る。 磁石とコイルを用いた実験を行い、磁界とコイルと電流の関係を見いだして理解する。	◆1分野(3)ア(イ) ⑦, ⑧, ⑨	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	電流がつくる磁界、磁界中の電流が受ける力、電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 理科】 担当：下出

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学 期	1 月	単元3 電流とその利用 3章 電流の正体 単元4 気象のしくみと天気の変化 1章 気象観測	静電気と電流には関係があることを見いだして理解する。電流が電子の流れに関係していることを知る。 放射線の性質と利用について知る。 気象と私たちの生活の関連性について考える。 気象要素として気温、湿度、気圧、風向などを理解する。 観察記録などに基づいて、気温、湿度、気圧、風向などの変化と天気との関係を見いだして理解すると共に、観測方法や記録の仕方を身に付ける。	◆1分野(3)ア(ア) ⑤ ◆2分野(4)ア(ア) ⑦、⑧	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	静電気と電流についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。静電気と電流に関する現象について、観察、実験などを行い、静電気の規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。 気象要素、気象観測についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。気象観測に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりする。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
	2 月	単元4 気象のしくみと天気の変化 2章 気圧と風 3章 天気の変化	気象要素の中から気圧を取り上げ、大気圧の実験を行い、その結果を空気の重さに関連付けて理解する。 圧力についての実験を行い、圧力は力の大きさと面積に関係があることを理解する。 高気圧や低気圧のつくりと気象観測などのデータや天気図から、等圧線と地上付近の風の向きや強さについて理解する。 霧や雲の発生についての観察、実験を行い、そのでき方を気圧、気温及び湿度の変化と飽和水蒸気量と関連付けて理解する。	◆2分野(4)ア(ア) ⑦、⑧ ◆2分野(4)ア(イ) ⑦	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	気圧と風についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。 気圧と風に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究している。 前線の通過と天気の変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
	3 月	単元4 気象のしくみと天気の変化 3章 天気の変化 4章 日本の気象	前線の通過に伴う天気の変化の観測結果などに基づいて、寒気や気団と関連を理解する。 天気図や気象衛星画像などから、日本の天気の特徴を気団と関連付けて理解する。 気象衛星画像や調査記録などから、日本の気象を日本付近の大気の動きや海洋の影響に関連付けて理解する。 気象現象がもたらす恵みと気象災害について調べ、これらを天気の変化や日本の気象と関連付けて理解する。	◆2分野(4)ア(イ) ⑧ ◆2分野(4)ア(ウ) ⑦、⑧ ◆2分野(4)ア(エ) ⑦	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。 日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。 日本の気象の特徴に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 音楽科】

担当：樋口紘子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	題材名【教材名】	題材のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	声部の役割 混声3部合唱『翼をください』	声部の役割と全体の響きのかかわりを理解 して歌おう	歌唱-ア・イ	知識・技能 思考・表現 主体的に学習に取 り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関 わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、 発音、身体の使い方など技能を身に付け歌唱で表し ている。 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し曲に相応 しい歌唱表現としてどのように表すか思いや意図を もっている。	観察 ワークシート
	5 月	アジアの声による表現 夏の思い出	アジアの様々な声の特徴から音楽の多様性 を理解して聴こう。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背 景との関わりについて理解するとともに、 それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現 を創意工夫して歌う。	創作-ア・イ 歌唱-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取 り組む態度	諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれ る音楽の多様性について理解している。 音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、音楽 表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや 美しさを味わって聴いている。 諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれ る音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみなが ら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もう としている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関 わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、 言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、 歌唱で表している。 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し曲に相応 しい歌唱表現としてどのように表すか思いや意図を もっている。	観察 ワークシート 実技
	6 月	声部の役割の理解 『フーガ短調』 合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】	音楽の構造や曲の背景との関わりについて 理解し、曲や演奏に対する評価と根拠につ いて考え音楽のよさや美しさを味わって聴 く。 パートの役割と全体の響きとのかかわりを 理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒 に工夫して表情豊かに合唱する。	鑑賞-ア・イ 歌唱-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取 り組む態度	曲想と音楽の構造との関わりについて理解してい る。 音色、テクスチュア、形式を知覚し曲や演奏の評価 と根拠を考えよさや美しさを味わって聴いている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関 わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、 言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、 歌唱で表している。 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、曲に相 応しい歌唱表現としてどのように表すか思いや意図 をもっている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関 わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体	観察 ワークシート 定期考査
	7 月	合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】					

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 音楽科】 担当：樋口紘子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	題材名（教材名）	題材のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学 期	9 月	合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】	パートの役割と全体の響きとのかかわりを 理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒 に工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取 り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関 わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、 発音、身体の使い方など技能を身に付け、歌唱で表 している。 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し曲に相応 しい歌唱表現としてどのように表すか思いや意図を もっている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関 わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体 的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験
	1 0 月	合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】 曲の構成の理解 Beethoven『交響曲第5番』	音楽の構造を意識して、管弦楽の豊かな響 きを鑑賞しよう	鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取 り組む態度	曲想と音楽の構造との関わりについて理解してい る。 音色、テクスチュア、形式を知覚し曲や演奏の評価 と根拠を考えよさや美しさを味わって聴いている。	観察 ワークシート
	1 1 月	歌舞伎とオペラ それぞれのよ さを味わう 『勅進帳』	歌舞伎の特徴を感じ取りながら、舞台芸術 を楽しもう 長唄の特徴をとらえて表現・鑑賞し、よさ を味わう	鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取 り組む態度	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術 との関わりについて理解している。 音色、リズム、速度、旋律を知覚し曲や演奏の評価 と根拠を考え、美しさを味わって聴いている。	観察 ワークシート 定期考査
	1 2 月	歌舞伎とオペラ それぞれのよ さを味わう 『アイダ』	オペラの特徴を感じ取りながら、舞台芸術 を楽しもう	鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取 り組む態度	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術 との関わりについて理解している。 音色、リズム、速度、旋律を知覚し曲や演奏の評価 と根拠を考え、美しさを味わって聴いている。	観察 ワークシート

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 音楽科】

担当：樋口紘子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	題材名（教材名）	題材のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	箏 又は 三味線	楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。	器楽-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色や響きと奏法の関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すか思いや意図をもっている。 楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験
	2 ・ 3 月	世界の諸民族の音楽 国歌【君が代】 卒業式式歌【曲目未定】 歌唱実技試験	諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	鑑賞-ア・イ 歌唱-ア・イ	知覚・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、曲に相応しい歌唱表現としてどのように表すか思いや意図をもっている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 美術科】 担当：野村 洋二

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	評価の観点	評価規準	評価方法
1学期	4月	ドライポイント 線による表現基礎 練習課題 1～3	身近な生活の中にあり日常的に接している線の表現が西洋美術の昔から用いられている表現法に通じていることを理解し、文化に関わる視点をはぐくむ 線による表現法の基本的理解と描画法の習得	共通事項(1)・(3) B鑑賞(1) A表現(2)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	美術文化についての理解を深め視野を広げる 線の表現についての理解と基本的描画表現	作品評価 授業観察
	5月		発想・表現方法の基礎的理解と表現の実際 線描の基礎理解から表現方法へつなげ、作品に生かす	A表現(1)(2) A表現(1)(2)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	発想と表現について学び、線描による形や明暗表現を考えながら作品制作を進める 線描についての基本事項を学び制作につなげる	作品評価 授業観察
	6月	鑑賞 「ジャポニスム」 定期試験	日本の美術が西洋美術に与えた影響と現代生活にも繋がるデザイン文化について考える 学習事項の習得と確認	B鑑賞 A表現(1)(2) 共通事項(1)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	新たな表現技法を取り入れることによる発想の転換や技法の発展について考える 一学期に学習したことのまとめ	レポート 授業観察 定期試験
	7月	ドライポイント	プレス機を使った印刷方法について学ぶ	A表現	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	印刷についての基礎理解と表現 手順についての理解	作品評価 授業観察

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 美術科】 担当：野村 洋二

期	月		単元のねらい	学習指導要領の指導項目	評価の観点	評価規準	評価方法
2学期	9月	ドライポイント	プレス機を使った印刷方法について学ぶ	A 表現	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	印刷についての基礎理解と表現 手順についての理解	作品評価 授業観察
	10月	平面構成Ⅲ	透視図法・投影図法、色の性質を理解し、立体感や奥行きを感じさせる画面構成を制作	A 表現 B 鑑賞 A 表現	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	個性豊かな画面を、図法や色の性質を考え構成する 色相・明度・彩度等による色の進出後退を考えた表現 マスキングテープ等を使いきれいな塗りムラのない彩色を心がける	作品評価 授業観察
	11月	平面構成Ⅲ 鑑賞 定期試験	透視図法・投影図法、色の性質を理解し、立体感や奥行きを感じさせる画面構成を制作 色彩紀行 学習事項の習得と確認	B 鑑賞 A 表現 B 鑑賞 共通事項(1)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	個性豊かな画面を、図法や色の性質を考え構成する 色相・明度・彩度等による色の進出後退を考えた表現 色についての理解 色の効果、価値、色彩心理 二学期に学習したことまとめ	作品評価 授業観察 レポート
	12月	平面構成Ⅲ	透視図法・投影図法、色の性質を理解し、立体感や奥行きを感じさせる画面構成を制作	B 鑑賞 A 表現	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	個性豊かな画面を、図法や色の性質を考え構成する 色相・明度・彩度等による色の進出後退を考えた表現	作品評価 授業観察

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 美術科】 担当：野村 洋二

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	評価の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	平面構成Ⅲ	透視図法・投影図法、色の性質を理解し、立体感や奥行きを感じさせる画面構成を制作	A 表現 B 鑑賞 A 表現	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	個性豊かな画面を、図法や色の性質を考え構成する 色相・明度・彩度等による色の進出後退を考えた表現 マスキングテープ等を使いきれいな塗りムラのない彩色を心がける	作品評価 授業観察
	2 月	根付（伝統工芸）	日本の伝統工芸について知識理解を深める。 根付を作ることによって用と美について考え、石材の性質を活かした彫刻を制作する	B 鑑賞 A 表現	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	石材の特徴を理解し個性豊かな彫刻表現をする 用途を考え目的に合ったデザインを考える	作品評価 授業観察
	3 月	根付（伝統工芸）	日本の伝統工芸について知識理解を深める。 根付を作ることによって用と美について考え、石材の性質を活かした彫刻を制作する	B 鑑賞 A 表現	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	石材の特徴を理解し個性豊かな彫刻表現をする 用途を考え目的に合ったデザインを考える	作品評価 授業観察

令和6年度 年間指導計画・評価計画

【2年 保健体育科】担当：安達敬江・小柴なぎさ

指導の観点：知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	A 体づくり運動	(1) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高め、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができるようにさせる。 (2) 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 体づくり運動の意義と行い方などを理解し課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 体ほぐし運動 イ. 体力を高める運動	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・体を動かす楽しさや心地よさを味わおうとしている。 ・自分の体力や目的にあった運動を選び、組み合わせることができる。 ・体ほぐしの運動……心と体は互いに影響し変化することに気づき、体の状態に応じて体の調子を整え、仲間と積極的に交流するための手軽な運動や律動的な運動を行うことができる。 ・体力を高める運動……ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた・体力向上を図るための運動の計画を立てて取り組むことができる。 ・体づくり運動の意義とその行い方を知っている。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 振り返りカード 期末考査
	5 ・ 6 月	C 陸上競技	(1) 陸上競技の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身につけることができるようにする。 (2) 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康安全に気を配ることができるようにする。 (3) 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 短距離走 リレー	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・全力で競技したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうをしている。 ・互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行おうとしている。 ・自分の能力に適した目標記録や課題に対し、練習を創意・工夫・思考することができる。 ・技能を高めたり、記録を高めたりすることができる。 ・特性や成り立ち、安全な学習の進め方を理解している。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 振り返りカード 期末考査
	7 月	D 水泳	(1) 水泳の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、泳法を身につけることができるようにする。 (2) 水泳に積極的に取り組むとともに勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. クロール イ. 平泳ぎ ウ. 背泳ぎ	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・続けて長く泳ぐ、速く泳いだり競争したりする水泳の楽しさや喜びを味わおうとし、技能を高めることができる。 ・目標を達成するための課題に対し、創意・工夫・思考している。 ・水泳の事故防止の心得や安全な行動のしかたを理解し、知識をもっている。また、それに準じた行動ができる。 ・水泳の特性や技術の名称、運動のポイントなどを理解している。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 振り返りカード 期末考査

令和6年度 年間指導計画・評価計画

【 2年 保健体育科 】 担当：安達敬江・小柴なぎさ

指導の観点：知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学 期	9 月	E 球技	(1) 運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 (2) 運動に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ウ. ベースボール型 「ソフトボール」 又は、 ア. ゴール型 「ハンドボール」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ルールや審判のしかたを理解している。 ・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 振り返りカード 期末考査
	10 月	E 球技	(1) 運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 (2) 運動に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	イ. ゴール型 「バスケットボール」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ルールや審判のしかたを理解している。 ・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 振り返りカード 期末考査
	11 月	C 陸上競技	(1) 陸上競技の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身につけることができるようにする。 (2) 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康安全に気を配ることができるようにする。 (3) 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ハードル走 走り高跳び 走り幅跳び	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・全力で競技したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行おうとしている。 ・自分の能力に適した目標記録や課題に対し、練習を創意・工夫・思考することができる。 ・技能を高めたり、記録を高めたりすることができる。 ・特性や成り立ち、安全な学習の進め方を理解している。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 振り返りカード 期末考査
	12 月	E 球技	(1) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 (2) 積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	イ. ネット型 「バレーボール」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ルールや審判のしかたを理解している。 ・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 振り返りカード 期末考査

令和6年度 年間指導計画・評価計画

【2年 保健体育科】担当：安達敬江・小柴なぎさ

指導の観点：知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3学期	1月	C 陸上競技	(1) 陸上競技の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身につけることができるようにする。 (2) 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康安全に気を配ることができるようにする。 (3) 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	長距離走	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・全力で競技したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行おうとしている。 ・自分の能力に適した目標記録や課題に対し、練習を創意・工夫・思考することができる。 ・技能を高めたり、記録を高めたりすることができる。 ・特性や成り立ち、安全な学習の進め方を理解している。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 学年末考査
	2月・3月	G ダンス	(1) 感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージをとらえた表現や踊りを通じた交流ができるようにする。 (2) 互いに動きの良さを感じ方、表現の良さなどを認め合い、協力して練習したり、発表したり鑑賞できるようにする。 (3) ダンスの特性や学び方、鑑賞のポイントについて理解できるようにする。	ウ、現代的なリズムのダンス	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・ダンスの楽しさや喜びを味わうことができるよう、互いの良さを認め合おうとしたり、分担した役割を果たそうとしている。健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。 ・ダンスを豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ・ダンスの特性に応じて、交流できるよう、イメージを捉えた表現や踊りをするための動きを身につけている。 ・ダンスの特性、踊りの由来と表現の仕方、関連して高まる体力などを理解している。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 振り返りカード 学年末考査
		F 武道	(1) 柔道の運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる受け身や技ができるようにする。 (2) 柔道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 柔道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア、柔道	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・礼儀作法を重んじて、相手を尊重し、自分を律する態度をとうろうとしている。 ・用具や会場の安全を確かめたり、受け身の技能を高め、禁じ技を用いないなど、安全に留意している。 ・自分に対しての課題を創意・工夫・思考している。 ・各種の練習を通して、段階的、系統的に技能を身につけている。 ・柔道の特性や基本動作、対人的な技術構造、学習の進め方を理解している。 ・礼儀作法や競技のルール、知識を身につけている。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 振り返りカード 学年末考査

令和6年度 年間指導計画・評価計画

【 2年 保健体育科 】

担当：村上正樹・小柴なぎさ

指導の観点：知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名(教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
保健・体育理論	2・3 学期	体育理論	・スポーツが持つ、人々を結び付ける働きとはどんなことか理解できるようにする。	「文化としてのスポーツ」 ・スポーツの文化的意義 ・国際的なスポーツ大会とその役割 ・人々を結び付けるスポーツ	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	○現代生活において、スポーツにはどんな意義があるのか理解している。 ○運動やスポーツの意義や効果などについて、自分の生活と結び付けて考えている。 ○諸外国の人と相互理解を深めるための活動や、国際的なスポーツ大会の役割について理解している。	授業態度 発言内容 学習プリント 期末考査
	2・3 学期	保健	・病気や健康にはどんなことが関わっているか理解できるようにする。生活習慣病を引き起こす要因と予防の仕方について理解できるようにする。	「健康な生活と病気の予防」 ・健康の成り立ち ・運動と健康 ・食生活と健康 ・休養・睡眠と健康 ・生活習慣病とその予防	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	○生活習慣病の予防の観点から、自身の生活を振り返り、より良い生活の過ごし方について考えることができる。 ○健康のために、運動・食事・休養などで気を付けるべきことを理解している。	授業態度 発言内容 学習プリント 期末考査
	3 学期	保健	・生活習慣の健康への影響について学び、喫煙・飲酒・薬物乱用を避けるための具体的な対処のしかたについて考えることができるようにする。	「健康な生活と病気の予防」 ・生活習慣病とその予防 ・がんとその予防 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	○生活習慣病やがんの予防に関心を持ち、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。 ○習得した知識を自他の生活と比較したり、活用したりして、健康の保持増進する方法を考えたり、選択したりしている。 ○喫煙・飲酒・薬物乱用の心身への害と社会への悪影響について、理解している。	授業態度 発言内容 学習プリント 学年末考査

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 技術科】 担当：齋藤優太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期		ガイダンス ・学習の見通し ・授業の約束ごとの確認					
	4月	エネルギー変換の技術 ・エネルギー変換の技術を身に つけよう ・電気に関する技術を知ろう ・機械に関する技術を知ろう ・実習の安全な進め方を知ろう	エネルギー変換の技術の見方・考え方を働 かせた実践的・体験的な活動を通して、生 活や社会で利用されているエネルギー変換 の技術についての基礎的な理解を図り、そ れらに係る技能を身に付け、エネルギー変 換の技術と生活や社会、環境との関わりに ついて理解を深めるとともに、生活や社会 の中からエネルギー変換の技術に関わる問 題を見いだして課題を設定し解決する力、 安全な社会の構築に向けて適切かつ誠実に エネルギー変換の技術を工夫し創造しよう とする実践的な態度を身に付ける。	C(1)アイ	知識・技能	・エネルギー変換の科学的な原理・法則を理解して いる。	定期テスト
	5月	・つくってみよう 「ラジオ制作」			知識・技能	・練習作品の製作を通してエネルギー変換の基礎的 な技術の仕組みを理解している。	観察 定期テスト
		・問題を解決する工夫を考えよう			知識・理解	・練習作品の製作を通して実習の安全な作業の進め 方を身に付けている。	観察 定期テスト
		・保守・点検のしかたを知ろう			主体的に学習に 取り組む態度	・進んでエネルギー変換の技術に関わり、主体的に 理解し、技術を身に付けようとしている。	ワークシート
		・電気の安全な使い方を知ろう			思考・判断・表 現	・技術に込められた問題解決の工夫について考えて いる。	ワークシート
	6月	・発電について知ろう			知識・技能	・機器の保守・点検やエネルギーの安全な利用につ いて理解している。	ワークシート 定期テスト
					主体的に学習に 取り組む態度		
	7月						

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 技術科】 担当：齋藤優太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学 期	9 月	エネルギー変換の技術 ・エネルギー変換の技術を身に つけよう ・電気に関する技術を知ろう ・機械に関する技術を知ろう ・実習の安全な進め方を知ろう ・つくってみよう 「ラジオ制作」	エネルギー変換の技術の見方・考え方を働 かせた実践的・体験的な活動を通して、生 活や社会で利用されているエネルギー変換 の技術についての基礎的な理解を図り、そ れらに係る技能を身に付け、エネルギー変 換の技術と生活や社会、環境との関わりに ついて理解を深めるとともに、生活や社会 の中からエネルギー変換の技術に関わる問 題を見いだして課題を設定し解決する力、 安全な社会の構築に向けて適切かつ誠実に エネルギー変換の技術を工夫し創造しよう とする実践的な態度を身に付ける。	C(1) アイ	知識・技能	・エネルギー変換の科学的な原理・法則を理解して いる。	定期テスト
					知識・技能	・練習作品の製作を通してエネルギー変換の基礎的 な技術の仕組みを理解している。	観察 定期テスト
					知識・理解	・練習作品の製作を通して実習の安全な作業の進め 方を身に付けている。	観察 定期テスト
					主体的に学習に 取り組む態度	・進んでエネルギー変換の技術に関わり、主体的に 理解し、技術を身に付けようとしている。	ワークシート
	10 月	・問題を解決する工夫を考えよう ・保守・点検のしかたを知ろう ・電気の安全な使い方を知ろう ・発電について知ろう			思考・判断・表 現	・技術に込められた問題解決の工夫について考えて いる。	ワークシート
					知識・技能	・機器の保守・点検やエネルギーの安全な利用につ いて理解している。	ワークシート 定期テスト
	11 月						
	12 月						

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 技術科】 担当：齋藤優太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	情報の技術	情報の技術の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに、生活や社会の中から情報の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい生活や地域社会の構築に向けて、適切かつ誠実に情報の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。	D（4）アイ	知識・技能	・情報の技術が、生活や社会に果たす役割や影響について理解している。	ワークシート
		・社会の発展と情報の技術			知識・技能	・情報の技術の概念を理解している。	ワークシート
		未来の社会を創造しよう			思考・判断・表現	・より安全で持続可能な社会の実現に向けて、情報の技術を評価し、適切な技術の在り方について考えている。	ワークシート
	2 月	・より住みやすい町づくり			主体的に学習に取り組む態度	・よりよい社会や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造していこうとしている。	ワークシート
		・様々な作業の自動化			知識・技能	・これまでの学習から、技術の発展がよりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に果たす役割や影響を踏まえ、技術の概念を説明できる。	ワークシート
					思考・判断・表現	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築を目指して、技術を評価し新たな発想に基づいた改良や応用の仕方を提言できる。	ワークシート
	3 月				主体的に学習に取り組む態度	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、技術を工夫し創造していこうとしている。	

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 家庭科】 担当:林 歩美

指導の観点:知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	B 衣食住の生活 3 さまざまな食品とその 選択 2. 日常着の手入れと 保管	・生鮮食品、加工食品の特徴を 理解する。情報を正確に読み 取って判断し、選択できるよう にする。 ・表示を正しく読み取って、既 製服を選ぶことができる。衣服 の材料や状態に応じて、適切な 手入れができ、洗濯することが できる。	B (4) イ B (1) アイ (2) アイ	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・6つの食品群と栄養素の関係を理解 する。 ・食品成分表の見方を理解する ・衣服の材料について理解する。 ・材料に応じた手入れの方法を知る。 ・洗濯の原理を知り、洗濯機を使った 洗濯ができるようになる。	プリント 授業への 取り組み 期末試験 提出物
	5 月						
	6 月	B 衣食住の生活 3. 生活を豊かにする ものの製作	・布を使った製作物を計画を立 てて作ることができる。	B (5) アイ	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・ポーチを製作する。進度に応じてデ コレーションを行う。 ・安全に気をつ けて製作できる。	プリント 授業への 取り組み 期末試験 提出物
	7 月						

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 家庭科】 担当:林 歩美

指導の観点:知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名(教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	1 衣食住の生活 4 日常食の調理	安全と衛生に気をつけて日常食の調理をすることができる。食品の調理上の性質を知り、適切に調理することができる。	B(3)アイウエ	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	・日常食の調理に関心をもっている。 ・肉、魚、野菜の調理上の性質を理解できる。	ワーク 授業への 取り組み 期末試験 提出物
	10 月						
	11 月	B 衣食住の生活 1. 住まいのはたらきとこちよさ 2. 安全な住まいで安心な暮らし	住まいの役割と家族との関わりについて理解し、生活行為と必要な住空間について考えることができる。日本の住まい方の特徴をあげることができる。災害に備えた住まい方を工夫できる。	B(6)アイ	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	・住まいは人間の生活や時代に応じて変化していくことを理解する ・住空間と生活行為との関係を理解する。 ・災害に備えた住まい方を工夫し、災害が起きた時の対策を考える。 ・住空間の構想ができる。	ワーク 授業への 取り組み 期末試験 提出物
	12 月						

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【2年 家庭科】 担当:林 歩美

指導の観点: 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名(教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	C 消費生活・環境 1 家庭生活と消費 2 購入・支払いと生活情報 3 消費者被害と消費者の自立 4 持続可能な社会	契約について理解できる。様々な販売方法と支払方法の特徴について理解できる。商品を適切に選択、購入、活用することができる。消費者トラブルの事例とその解決方法を理解できる。	C (1) アイ (2) アイ	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	・生活にかかるお金の収入と消費のバランスの大切さを知る。 ・さまざまな購入・支払方法について知り、消費生活のトラブルを防ぐ。 ・消費者の権利と責任について理解する。	ワーク 授業への取り組み 期末試験 提出物
	2 月						
	3 月						

令和6年度 年間指導計画 ・ 評価計画 【 2年 英語 】 担当：廣瀬 光恵

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期 月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月 Unit 0 My Spring Vacation Unit 1 A Trip to Singapore	思い出を伝えるために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを話すことができる。 題材 旅行の楽しさと海外の文化や言語について考える。 活動 休暇や週末の予定について、たずねたり伝えたりすることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	過去形や過去進行形を用いた文、There is [are] …の文の形・意味・用法を理解している。 思い出について、過去形や過去進行形、There is [are] …の文を使い分けて、自分が経験したことを伝える技能を身につけている。 思い出を伝えるために、自分の経験について、簡単な語句や文を用いて書いたり話したりしようとしている。	小テスト ワークシート 行動観察 ノート
	5 月 Let's Talk 1 ホテルでのトラブル Unit 2 Food Travels around the World	場面に応じて、苦情を言ったり、それに対して謝ったりすることができる。 題材 日本や外国の料理を知り、食文化の歴史や変化について考える。 活動 好きな食べ物やその理由について、紹介文を書くことができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	be going toや助動詞will, SV00やSV0Cの文の理解をもとに、予定や意思、予測などを伝え合ったり、名所の紹介や旅行の報告についての英文の内容を読み取ったりする技能を身につけている。 お互いの予定や観光名所の特徴、旅行の楽しさなどを知るために、予定について伝え合ったり、名所の紹介文や旅行の報告についての文章の概要を捉えたりしようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート パフォーマンステスト 行動観察 ノート ワーク
	6 月 Let's Talk 2 ていねいなお願い Grammar for Communication 2 学び方コーナー① Let's Listen 2 インタビュー Unit 3 My Future Job	場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。 接続詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 英語の単語を覚えるために、音とつづりと意味について知る。 インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。 題材 これからの社会を想像し、自分の将来像や夢について考える。 活動 自分が体験したことや学んだことなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。（発表は職場体験後に予定）	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	不定詞を用いた文の理解をもとに、何かをする目的や感情の原因、大切だと思うことを伝えたり、言葉に情報を加えて説明したりする技能を身につけている。 自分の将来像や夢を考えて伝え合うために、職業について書かれた文章の概要を捉えたり、自分の夢や夢実現のためにしていることなどについて説明したりしようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート パフォーマンステスト 行動観察 ノート ワーク
	7 月 Let's Write 1 Grammar for Communication 3 Learning TECHNOLOGY in English Stage Activity 1 A Message to Myself in the Future	留守番電話のメッセージを聞いて内容を理解し、相手に返信メールを書くことができる。 不定詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 好きなことや得意なことについて話し合い、自分に合うと思う仕事について書くことができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 不定詞を用いて、目的やしたいことなどを伝える技能を身につけている。 （※自分の職業体験で体験したことは、2学期の職業体験後にまとめ、発表する予定） Unit 3までの学習事項を用いて、おたがいの好きなことや得意なこと、向いていると思う仕事を伝え合って整理し、未来の自分へのメッセージを書く技能を身につけている。	小テスト ワークシート パフォーマンステスト 行動観察 ノート

令和6年度 年間指導計画 ・ 評価計画 【2年 英語】 担当：廣瀬 光恵

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	Let's Read 1 History of Clocks Let's Listen 3 天気予報 Unit 4 Homestay in the United States Let's Write 2 ホームステイのお礼状 Grammar for Communication 4	説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。 天気予報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 題材 日米の生活習慣や文化のちがいを知り、ともに暮らすヒントを考える。 活動 習慣やマナーについて、たずねたり伝えたりすることができる。 お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。 助動詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	have to, 助動詞must, 動名詞を用いた文の理解をもとに、する必要があることやしなければならないこと、事実や気持ちを伝え合う技能を身につけている。 日米の生活習慣や文化のちがいを知り、ともに暮らすヒントを考えるために、習慣やマナーについて書かれた文章の概要を捉えたり、アドバイスを伝えたりしようとしている。 手紙を書く際の基本的な構成と表現を用いて、お世話になったことなどについて、感謝の気持ちを伝える手紙を書く技能を身につけている。	定期検査 小テスト ワークシート 行動観察 ノート ワーク
	10 月	学び方コーナー② Let's Listen 4 電車の運行情報 Unit 5 Universal Design	聞き手に内容がよく伝わるように、英語の文章を音読することができる。 運行情報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 題材 だれもが使いやすいものや、暮らしやすい社会について考える。 活動 身近なもの・ことについて、使い方ややり方を説明したり、自分の考えを述べたりすることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	〈疑問詞+to〉を用いた文や〈主語+be動詞+形容詞+that〉の文の理解をもとに、使い方ややり方、確信や喜びの気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。 だれもが暮らしやすい社会について考えるために、身近なものの使い方ややり方を説明したり、相手の考えや気持ち、ある人物の功績について書かれた文章の概要を捉えたり、してみたいことを伝え合ったりしようとしている。	小テスト ワークシート 行動観察 ノート
	11 月	Let's Talk 3 電車の乗りかえ Let's Listen 5 留守番電話 Unit 6 Research Your Topic Let's Talk 4 買い物 Grammar for Communication 5	乗り物での行き方をたずねたり、答えたりすることができる。 留守番電話を聞き、主な内容を理解することができる。 題材 身近なトピックを通して、調査や発表の効果的なやり方について考える。 活動 身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。 自分の好みや要望を伝えながら買い物をすることができる。 比較表現を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	比較表現を用いた文の理解をもとに、複数のものを比べて伝え合う技能を身につけている。 調査や発表の効果的なやり方について考えるために、複数のものを比べた文章の概要を捉えたり、特徴を比較しながら調査の結果や意見を伝え合ったりしようとしている。 好みや要望を伝える表現を用いて、買い物のやり取りをする技能を身につけている。 買い物でほしいものを探すことができるように、自分の好みや要望を、簡単な語句や文を用いて伝えようとしている。	定期検査 小テスト ワークシート 行動観察 ノート
	12 月	Stage Activity 2 Research and Presentation 学び方コーナー③ Let's Read 2 A Glass of Milk	クラスで人気のあるものを調べて、その結果を発表することができる。 あるテーマについて、自分の賛成や反対の意見を述べるすることができる。 物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	Unit 6までの学習事項を用いて、クラスで人気のあるものについて調査し、その結果をまとめて、発表する技能を身につけている。 聞き手のことを考えてわかりやすく伝えるために、クラスで人気のあるものについて調査し、その結果をまとめて発表しようとしている。 場面や登場人物の心情を表す表現の理解をもとに、物語の流れに沿って登場人物の気持ちを読み取る技能を身につけている。	小テスト ワークシート 行動観察 ノート

令和6年度 年間指導計画 ・ 評価計画 【 2年 英語 】 担当：廣瀬 光恵

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	Let's Listen 6 商品のコマーシャル Unit 7 World Heritage Sites	商品のコマーシャルを聞き、商品の特長を聞き取ることができる。 題材 世界遺産の特徴について知り、その特別な価値について考える。 活動 各地の世界遺産を紹介することができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	2つ以上のものを比べる表現の意味や働きの理解をもとに、商品についてのコマーシャルの内容を聞き取る技能を身につけている。 受け身の文の理解をもとに、世界遺産などについて事実などを整理し、理解したり伝え合ったりする技能を身につけている。 世界遺産の特徴を知り、その価値について考えるために、事実などを整理し、紹介された文章の概要を捉えたり、調べたことを紹介したりしようとしている。	小テスト ワークシート パフォーマンス テスト 行動観察 ノート
	2 月	Let's Talk 5 電話でのやり取り Grammar for Communication 6 Let's Listen 7 店内のアナウンス Stage Activity 3 My Favorite Place in Our Town	自分の好みや要望を伝えながら電話で用件を伝えることができる。 受け身の文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 店内のアナウンスを聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。 自分の町のおすすめの場所について書き、相手にその場所の特徴やよい点を伝えることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	電話での対応の表現や好み・要望を伝える表現を用いて、電話で用件を伝えたり答えたりする技能を身につけている。 Unit 7までの学習事項を用いて、自分の町のおすすめの場所について、その場所の特徴やよい点を整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。 ALTの先生に町のおすすめの場所を紹介するために、その場所の特徴やよい点を整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート 行動観察 ノート
	3 月	Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet	人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	時系列を表す文章構成や語句の理解をもとに、ある人物の生涯について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。 文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり、そこからわかる環境問題について考えを伝え合ったりするために、ある人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えようとしている。	小テスト ワークシート パフォーマンス テスト 行動観察 ノート